

セットアップマニュアル NMstage プレーヤーソフト

もくじ	ページ
はじめに	2
準備	3
設置手順	5
セットアップ	7
起動する・終了する	13
設定を変更する	14
スタンドアローンで使用する ..	20
困ったときには	25
対応コンテンツ仕様	27

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

はじめに

本書は、NMstage プレーヤーソフトのセットアップ手順、起動および終了手順、設定変更について説明します。

ご使用になる前に必ず一読し、正しい使い方をしていただきますようお願いします。

■ 商標

- ・ Microsoft[®]、Windows[®]、Windows[®] 7、Windows Media、PowerPoint、PowerPoint Viewerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Adobe[®] Flash[®] Player. Copyright[©] 1996-2006 Adobe Systems Incorporated. 無断複写・転載を禁じます。米国特許第6,879,327号によって保護されており、米国等において特許出願中です。AdobeおよびFlashは、米国等における商標または登録商標です。
- ・ その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・ 本製品に含まれているソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。
- ・ NMstageは、パナソニック株式会社の登録商標です。

■ 著作権

本ソフトウェアには、ログ検索など一部の機能でデータを圧縮・解凍するため、UNLHA32.DLL for Win32 Ver 1.86c を使用しており、著作権は Micco が保有しています。その他のプレーヤーソフトウェアは、パナソニック株式会社が著作権を保有しております。

■ 名称等の表記

本書では名称等を以下のように表記します。

- 「Windows[®] Embedded Standard 7」を[Windows 7]と表記します。

準備（１）

NM コントローラをご購入後の初期起動状態と、標準 NMstage（サーバー使用）モードで使用する際の切り替え手順と、スタンドアローン（サーバーなし）モードへの切り換え手順について説明します。

■ 初期起動状態

NM コントローラご購入直後に、ディスプレイを接続して電源を投入すると、Windows の初期設定が始まり、約 5 分で終了しますので、そのままお待ちください。

Windows の初期設定が終わりますと、スタンドアローンモードで起動しますので、スタンドアローンモードで使用する場合は、そのまま利用できます。

標準 NMstage として使用する場合は、USB キーボード及び USB マウスを接続の上、以下に示す「標準 NMstage への切り換え手順」を参照して、切り換え作業を行ってください。

また、NM コントローラ解像度の初期値は、1920×1080 に設定されています。
解像度の変更方法は 14 頁【[画面解像度の変更](#)】をご参照ください。

注意！！

- Windows の初期設定中は、電源を落さないでください。

■ 標準NMstageへの切り替え手順

STEP 1 現在、動作しているプレーヤーソフトウェアを終了します。
キーボードの **Ctrl** + **Alt** + **E** を押して、プレーヤーソフトウェアを終了します。
アプリケーションが終了すると黒画面となりますので、そこでマウスをダブルクリックすると、デスクトップ画面が表示されます。
※黒画面が終了しない場合は、**Ctrl** + **Alt** + **Del** を押して、タスクマネージャを表示して、プロセスタブから、「DriveWatch.exe」を選択して、プロセスの終了を行ってください。

STEP 2 標準モードに切り替える場合、デスクトップ上の「標準 NMstage に切り替え」アイコンをダブルクリックします。



STEP 3 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。
切り替えが完了すると、「標準 NMstage に切り替えました。」のメッセージを表示します。
※標準 NMstage への切り替えを行うと、スタンドアローンモードで登録されたコンテンツは、削除されます。

STEP 4 Windows のスタートメニューより NM コントローラを再起動します。
NM コントローラが再起動すると、標準 NMstage が起動します。

準備（2）

■ スタンドアローンモードへの切り替え手順

STEP 1 現在、動作しているプレーヤーソフトウェアを終了します。
プレーヤーソフトウェアを終了するには、
キーボードの **Ctrl** + **Alt** + **E** を押します。
アプリケーションが終了すると黒画面となりますので、そこでマウスをダブルクリックすると、デスクトップ画面が表示されます。

※標準 NMstage として初期設定を行っていない場合は、自動コンフィグレーション画面が表示されますので、この自動コンフィグレーション画面を終了して、Windows のデスクトップを表示させます。

自動コンフィグレーション画面の終了方法の詳細については、7頁【[■ 起動モード切り替え、およびネットワーク設定](#)】をご参照ください。

STEP 2 デスクトップ上の「スタンドアローン NMstage に切り替え」アイコンをダブルクリックします。



STEP 3 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。
切り替えが完了すると、「スタンドアローンモードに切り替えました。」のメッセージを表示します。

STEP 4 Windows のスタートメニューより NM コントローラを再起動します。
NM コントローラが再起動すると、スタンドアローンモードで起動し、デフォルト画面を表示します。

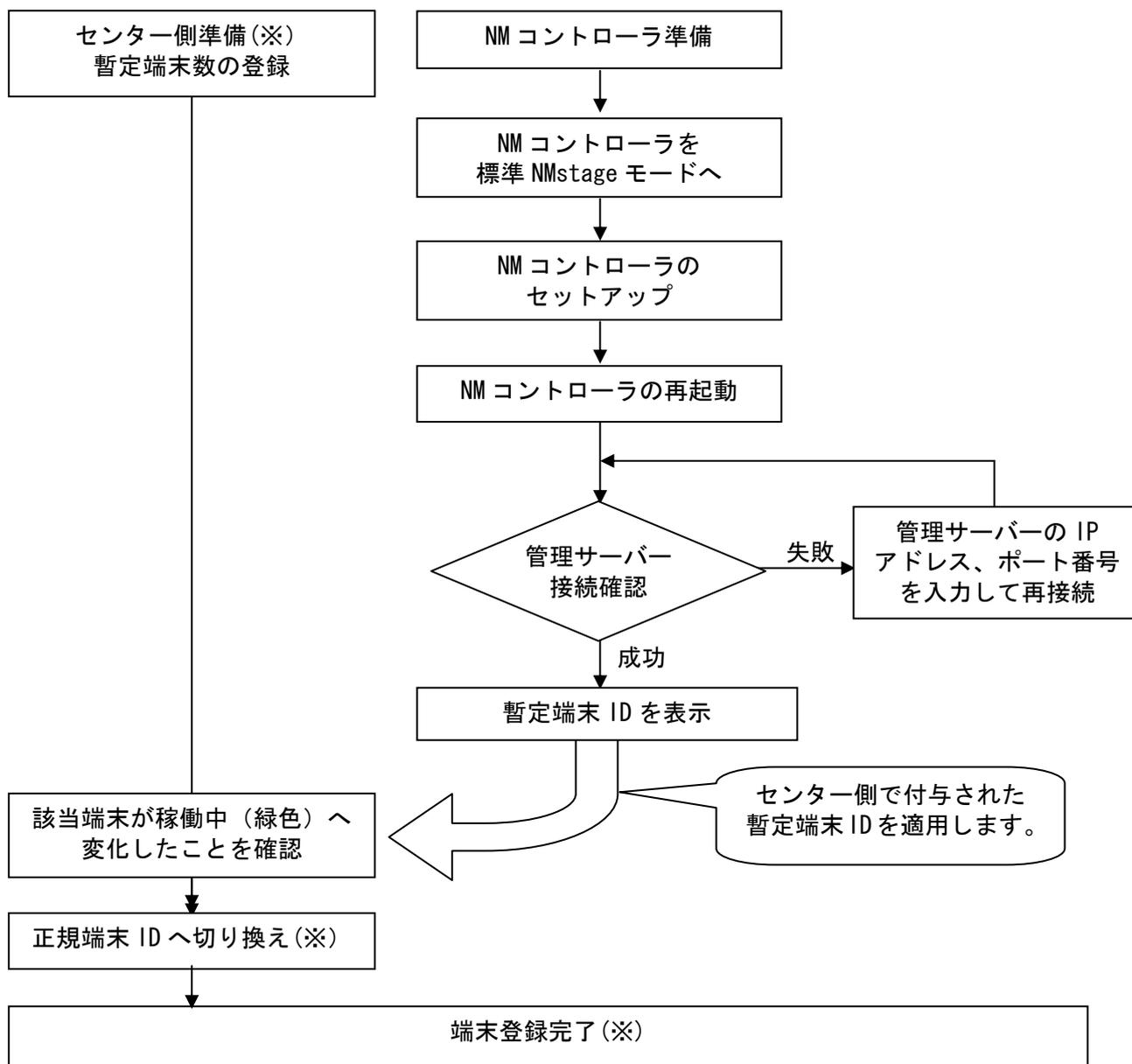
設置手順（1）

NM コントローラの設置手順について説明します。

■ 手順

NM コントローラは自動コンフィグレーション機能を使用して管理サーバー（NM-SVR）に登録されます。

自動コンフィグレーション機能の詳細については10頁【[■ NM コントローラ動作環境設定](#)】をご参照ください。



※センター側の作業内容については「管理サーバーソフト 取扱説明書（インストール編）」を参照してください。

設置手順（2）

■ Cドライブへの不正アクセス防止について

Cドライブへの不正アクセスを防止するため、NM コントローラにはロック機能が備わっています。

NM コントローラの初期起動時には、Cドライブにロックがかかっています。システムに関する設定の変更を行う場合、必ずロックを解除してから行ってください。また、設定の変更が完了した場合、必ずロックしてください。

注意！！

- ロックがかかった状態で、ネットワーク設定や解像度設定、スピーカ音量設定などシステムに関する設定の変更を行った場合、変更内容は一時的に反映されますが、NM コントローラを再起動すると、変更内容は破棄されてしまいます。

STEP 1 ロックを解除する場合、一旦 NM コントローラを再起動します。

STEP 2 再起動後、デスクトップ上の「ロック解除」アイコンをダブルクリックします。NM コントローラが自動で再起動されます。



STEP 3 システムに関する設定の変更を行います。

STEP 4 設定変更後、デスクトップ上の「ロック」アイコンをダブルクリックします。NM コントローラが自動で再起動されます。



セットアップ（1）

標準 NMstage としてシステム運用を開始する前に、以下の順序で NM コントローラのセットアップを行います。

- 起動モード切り替え、およびネットワーク設定
- NM コントローラ動作環境設定

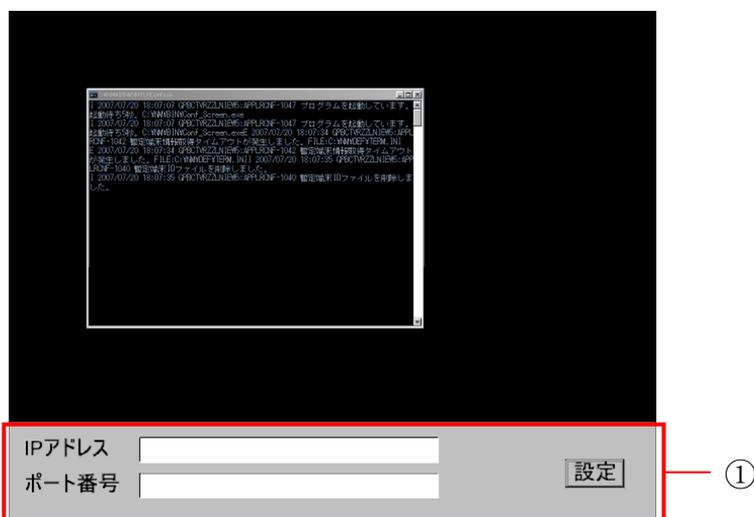
■ 起動モード切り替え、およびネットワーク設定

STEP 1 NM コントローラの電源を投入します。電源を投入すると、自動的にログオンが行われ、NM コントローラがスタンドアロンモードで起動します。セットアップを行うためにはプレーヤーソフトウェアを標準 NMstage モードへ切り替える必要があります。

標準 NMstage モードへの切り替え手順については、3頁【[■ 標準 NMstage への切り替え手順](#)】をご参照ください。

STEP 2 NM コントローラが標準 NMstage モードで起動すると下図の画面が表示されます。ネットワーク設定を行うためにはプレーヤーソフトウェアを終了させる必要があります。

画面下部 (①) にマウスカーソルを合わせ、クリックしてアクティブ状態にします。キーボードの **[Ctrl] + [Alt] + [E]** を押して、自動コンフィグレーション画面を終了します。



STEP 3 コマンドプロンプトが表示されていますので、「X」をクリックして終了します。

STEP 4 画面が全面黒の状態になったら、マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。黒画面が解除されて、Windows のデスクトップが表示されます。

セットアップ（2）

STEP 5 Windows デスクトップ上の「ロック解除」アイコンをダブルクリックします。
NM コントローラが自動で再起動されます。



STEP 6 NM コントローラが起動した後、STEP 1～STEP 3 を繰り返し、再度プレーヤーソフトウェアを終了します。

※ ここでは、有線 LAN 接続時の設定方法について説明します。
無線 LAN を用いて接続する場合は、ご利用の無線 LAN ルーターの説明書やネットワーク管理者の指示に従って、セットアップを行ってください。

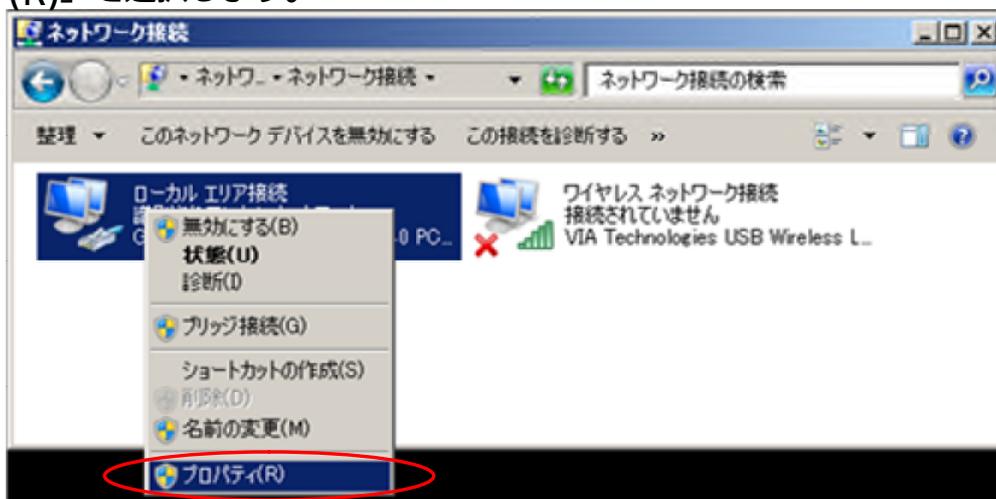
STEP 7 「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順にクリックします。

STEP 8 「アダプターの設定の変更」をクリックします。

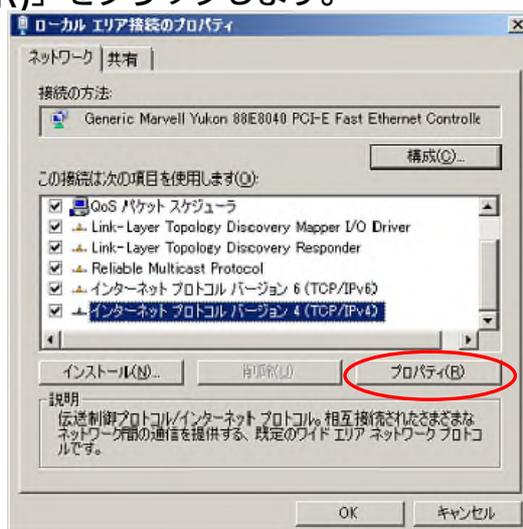


セットアップ (3)

STEP 8 「ローカルエリア接続」にカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。



STEP 9 「全般」タブから「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。

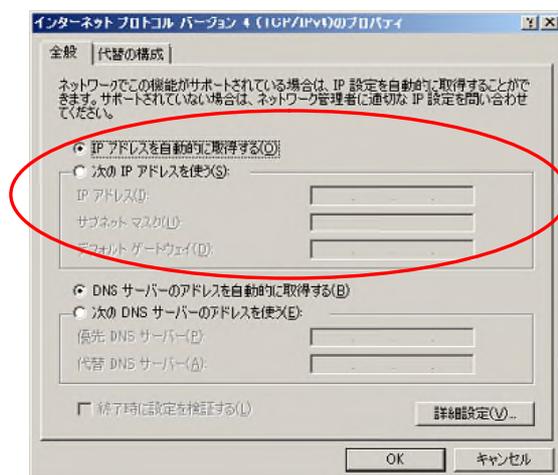


STEP 10 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」で以下の設定を行って設定が完了したら「OK」をクリックします。

- 固定 IP アドレスを付与する場合
「次の IP アドレスを使う(S)」を選択し、以下の項目を入力します。
 - IP アドレス(I) : NM コントローラの IP アドレス
 - サブネットマスク(U) : NM コントローラが接続している環境のサブネットマスク
 - デフォルトゲートウェイ(D) : ルーターの IP アドレス

セットアップ（4）

- DHCP サーバーで自動的に付与する場合
「IP アドレスを自動的に取得する(O)」を選択します。



STEP 11 Windows デスクトップ上の「ロック」アイコンをダブルクリックします。
NM コントローラが自動で再起動されます。以上でネットワーク設定は完了です。



■ NM コントローラ動作環境設定

NM コントローラの電源を投入すると、プレーヤーソフトウェアが自動的に起動され、自動で NM コントローラの動作環境の設定（自動コンフィグレーション機能）が実行されます。自動コンフィグレーション機能を利用すると、NM コントローラを起動した際に暫定端末 ID が付与され、暫定端末として、自動的に管理サーバー（NM-SVR）との接続確認を行います。その後、操作端末上から「正規端末 ID」への切り替えを実行し、正規端末として管理サーバー（NM-SVR）に登録します。

なお、暫定端末の状態では以下の機能制限があります。

機能	暫定端末	正規端末
管理サーバーとの接続	○	機能制限なし
稼動監視	○	
コマンド配信	○	
各種管理情報の登録	×	
管理情報の配信処理	×	

以下の手順に従って、自動コンフィグレーション機能を実行してください。

STEP 1 ネットワーク設定が完了した後、NM コントローラが再起動されます。
NM コントローラ再起動後、自動的に自動コンフィグレーション画面が起動します。

セットアップ（5）

- STEP 2** 自動的に FTP 接続情報を取得します。
管理サーバー（NM-SVR）の IP アドレスと、ポート番号を入力し、「設定」をクリックしてください。



注意！！

- 管理サーバー（NM-SVR）の IP アドレスとポート番号はネットワーク責任者等にお問い合わせの上、事前に入手していただく必要があります。

参考

- ポート番号のデフォルトは 30435 です。

- STEP 3** 管理サーバー（NM-SVR）との接続が完了すると、自動的に暫定端末 ID を取得します。

表示された暫定端末 ID は、電話またはメール等を利用してセンター側に報告してください。

センター側の操作端末上で正規端末 ID へ切り替え操作を行います。

暫定端末IDを取得しました。

暫定端末ID: ZZZZ0001

参考

- センター側の作業内容、正規端末 ID への切り替え方法については「管理サーバーソフト取扱説明書（操作編）」をご参照ください。
- 暫定端末 ID は、ユーザコード「ZZZZ」固定、端末 ID「0001～0100」の 8 桁です。
例：ZZZZ0001～0100

セットアップ（6）

ここまでの手順で NM コントローラのセットアップは完了です。この状態で、NM コントローラを終了することも可能です。

終了方法は 1 3 頁【[■ 終了方法](#)】をご参照ください。

以降の手順は、センター側で正規端末 ID への切り替え操作を行った際の画面遷移となります。正規端末 ID への切り替え操作が速やかに行われる場合は、以降の画面遷移をご確認ください。

STEP 4 センター側の正規端末 ID への切り替え操作が完了した後、自動的に正規端末 ID および設定ファイルを取得し、正規端末 ID にて、管理サーバー（NM-SVR）と接続します。

正規端末ID及び設定ファイルを取得中です。

STEP 5 正規端末 ID および設定ファイルの取得が完了すると、以下の画面が表示された後、画面が全面黒の状態になります。黒画面が表示されれば、自動コンフィグレーション完了です。

正規端末ID及び設定ファイルを取得しました。

終了

注意！！

- 上記画面はしばらくすると黒画面となり見えなくなります。

以上で NM コントローラの暫定端末 ID から正規端末 ID への切り替えは完了です。

起動する・終了する

NM コントローラの起動および終了方法について説明します。

■ 起動方法

NM コントローラの起動は以下の順序で行います。

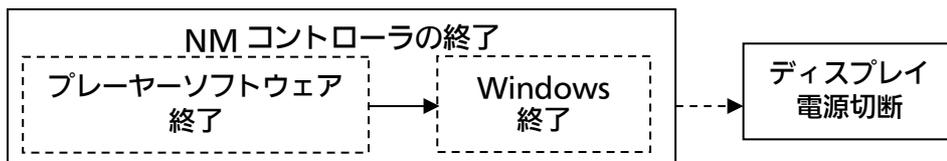


STEP 1 NM コントローラの電源を投入すると自動的にログオンが行われ、プレーヤーソフトウェアが起動します。

自動コンフィグレーション設定が完了した後、システム運用中に NM コントローラを直接操作する必要はありません。また、1 日 1 回再起動が行われ、各種動作環境がリフレッシュされますので、特に問題のない限り手動による電源の ON/OFF は必要ありません。

■ 終了方法

終了は以下の手順で行います。



NM コントローラを終了させるには、以下の 2 通りの方法があります。

(1) 電源スイッチ押下

NM コントローラの電源スイッチを押してください。プレーヤーソフトウェアが終了した後、Windows が終了します。

(2) キーボード操作による終了

※NM コントローラに接続されたキーボードが必要となります。

STEP 1 NM コントローラに接続されたキーボードで、**Ctrl** + **Alt** + **E**を押します。

STEP 2 画面が全面黒の状態になったら、マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。黒画面が解除されて、Windows のデスクトップが表示されます。スタートメニューから Windows のシャットダウン処理を行ってください。

注意！！

- センター側からリモートで NM コントローラを起動することはできません。終了後に NM コントローラをご使用になる場合は、起動方法に従って NM コントローラを起動してください。

設定を変更する（1）

システムの運用開始後、および正規端末 ID が NM コントローラに適用された後、各端末の情報設定に変更が必要となった場合、以下の手順に従って設定を変更してください。

■ 画面解像度の変更

NM コントローラの画面解像度は、1920×1080 に設定されています。画面解像度を変更して運用される場合は、画面のプロパティで解像度を変更した後、プレーヤーソフトウェアの設定情報を変更する必要があります。

STEP 1 キーボードの **Ctrl** + **Alt** + **E** を押して、プレーヤーソフトウェアを終了させます。画面が全面黒の状態になったら、マウスの左ボタンをダブルクリックしてください。「デスクトップ画面で右クリック」→「画面の解像度 (C)」を選択します。「画面の解像度」ダイアログが表示されますので、画面の解像度を変更します。

注意！！

- 画面のプロパティで画面解像度を変更する場合、必ずロックを解除した後に実行してください。また変更後にはロックをしてください。ロックの解除およびロックの方法は 6 頁【[■ C ドライブへの不正アクセス防止について](#)】をご参照ください。

STEP 2 プレーヤーソフトウェアの設定情報を削除します。以下の対象ファイルを削除してください。

対象ファイル： D:\NM\DEF\DisplaySizeChange.ini

STEP 3 NM コントローラを再起動します。再起動後、STEP1 と同様の手順でプレーヤーソフトウェアを終了させます。再度、画面のプロパティを開き、画面解像度が正しく設定されていることを確認してください。

以上で画面解像度の変更は完了です。

■ 各端末の情報設定の変更

STEP 1 各端末の情報設定を行います。

Windows のスタートメニュー→「すべてのプログラム」→「NMstage」→「NM-PLR 設定変更」を選択します。

設定を変更する（2）

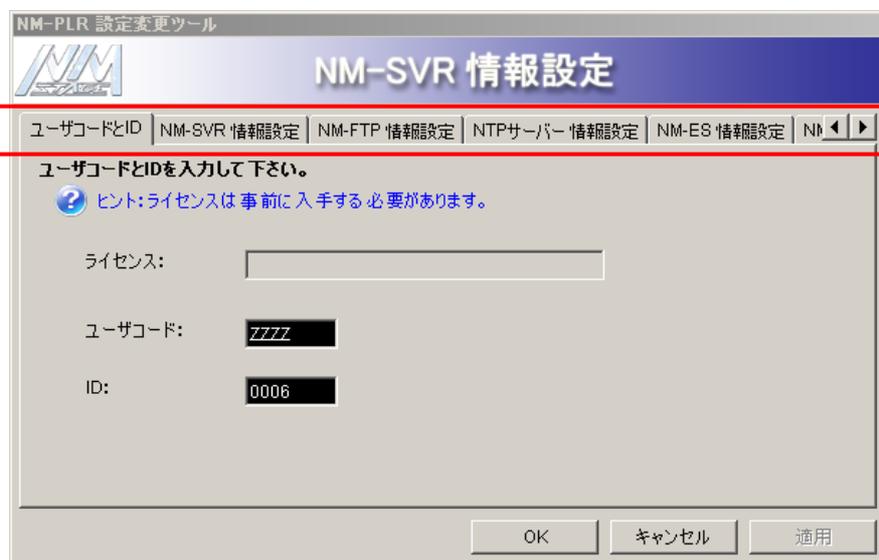
STEP 2 パスワード入力画面ダイアログが表示されます。
パスワードを入力してください。



※パスワードについては、販売店にお問い合わせください。

STEP 3 変更が必要となる情報のタブをクリックして、設定内容を変更してください。
設定変更が可能な情報は以下のとおりです。

- ・ ユーザコードと ID
- ・ NM-SVR 情報設定
- ・ NM-FTP 情報設定
- ・ NTP サーバー情報設定
- ・ NM-ES 情報設定
- ・ NM-PLR 情報設定



STEP 4 入力した設定内容をシステムに反映する場合、「適用」をクリックしてください。
確認ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックしてください。



設定を変更する（3）

- STEP 5** 設定変更が完了した場合、「OK」をクリックしてください。
確認ダイアログが表示されますので「OK」をクリックして、コンピュータを再起動してください。



注意！！

- 設定を変更した後は必ず NM コントローラを再起動してください。

設定変更が可能な情報

以下に、設定変更ツールで変更が可能な情報と詳細について説明します。

■ ユーザコードと ID

ユーザコードと ID の情報設定を行います。



設定を変更する（４）

■ NM-SVR 情報設定

NM-SVR の情報設定を行います。
以下を参考に必要な情報を変更してください。

- プライマリサーバー
NM-SVR の設定と一致させる必要があります。

入力項目	解説
サーバーID	NM-SVR のサーバーコードと端末 ID を続けて入力
アドレス	IP アドレスまたはホスト名
ポート番号	NM-SVR と端末間の通信用ポート

- セカンダリサーバー
NM-SVR の設定と一致させる必要があります。

入力項目	解説
サーバーID	NM-SVR のサーバーコードと端末 ID を続けて入力
アドレス	IP アドレスまたはホスト名
ポート番号	NM-SVR と端末間の通信用ポート

NM-PLR 設定変更ツール

NM-SVR 情報設定

NM-SVR 情報設定 | NM-FTP 情報設定 | NTPサーバー 情報設定 | NM-ES 情報設定 | NM-PLR 情報設定

NM-SVRに関する情報を入力して下さい。
ヒント: NM-SVRの設定と一致させる必要があります。

プライマリサーバー

サーバーID: SV010001 アドレス: 172.24.196.11 ポート番号: 30435

接続確認

セカンダリサーバー

サーバーID: SV990002 アドレス: [redacted] ポート番号: [redacted]

接続確認

OK キャンセル 適用

設定を変更する（5）

■ NM-FTP 情報設定

NM-FTP の情報設定を行います。

ポート番号を入力し、「追加」をクリックしてネットワーク帯域制限を追加します。削除する場合、削除したい行に黒い矢印を移動させて、「削除」をクリックしてください。

ネットワーク帯域制限では、指定された時刻以降のネットワーク通信帯域の上限を定めます。NM-FTP はオプション機能です。

The screenshot shows the 'NM-PLR 設定変更ツール' (NM-PLR Configuration Change Tool) window with the 'NM-FTP 情報設定' (NM-FTP Information Setting) tab selected. The window title is 'NM-PLR 設定変更ツール'. The main title is 'NM-FTP 情報設定'. Below the title bar, there are navigation tabs: 'NM-SVR 情報設定', 'NM-FTP 情報設定', 'NTPサーバー 情報設定', 'NM-ES 情報設定', and 'NM-PLR 情報設定'. The main content area contains the following text: 'NM-FTPに関する情報を入力して下さい。' (Please enter information related to NM-FTP.) and a blue question mark icon followed by the text: 'ヒント: 時間ごとに帯域制限を設定できます。' (Hint: You can set bandwidth limits for each time period.). Below this, there is a field for 'FTPサーバー ポート番号:' (FTP Server Port Number) with the value '30437' and a '追加(A)' (Add) button. Underneath, there is a section for 'ネットワーク帯域制限' (Network Bandwidth Limit) with a table. The table has two columns: '時間(H:M)' (Time (H:M)) and '帯域' (Bandwidth). There is a '削除(D)' (Delete) button to the right of the table. At the bottom of the dialog, there are three buttons: 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and '適用' (Apply).

■ NTP サーバー情報設定

NMstage で提供する時刻補正の機能を使用する場合は、「時刻補正の機能を使用する」にチェックしてください。時刻補正する対象を「NM-SVR と時刻補正」、または「NTP サーバーと時刻補正」から選択します。

後者の場合は、NTP サーバーの IP アドレスを入力してください。

The screenshot shows the 'NM-PLR 設定変更ツール' (NM-PLR Configuration Change Tool) window with the 'NTPサーバー 情報設定' (NTP Server Information Setting) tab selected. The window title is 'NM-PLR 設定変更ツール'. The main title is 'NTPサーバー 情報設定'. Below the title bar, there are navigation tabs: 'NM-SVR 情報設定', 'NM-FTP 情報設定', 'NTPサーバー 情報設定', 'NM-ES 情報設定', and 'NM-PLR 情報設定'. The main content area contains the following text: 'NTP(時刻補正)サーバーに関する情報を入力して下さい。' (Please enter information related to NTP (Time Correction) server.) and a blue question mark icon followed by the text: 'ヒント: NTPサーバーがない場合は初期設定の値を適用して下さい。' (Hint: If there is no NTP server, apply the initial setting values.). Below this, there is a checked checkbox for '時刻補正の機能を使用する' (Use time correction function). Underneath, there are two radio button options: 'NM-SVRと時刻補正' (NM-SVR and time correction) and 'NTPサーバーと時刻補正' (NTP server and time correction). The second option is selected. Below the radio buttons, there are three rows of input fields for 'アドレス 1:', 'アドレス 2:', and 'アドレス 3:', each with a corresponding 'ポート 1:', 'ポート 2:', and 'ポート 3:' field. The addresses are all '192.168.10.10' and the ports are all '123'. At the bottom, there are two more input fields: '補正周期(秒):' (Correction period (sec)) with the value '3600' and 'アクセスタイムアウト(msec):' (Access timeout (msec)) with the value '1000'. At the bottom of the dialog, there are three buttons: 'OK', 'キャンセル' (Cancel), and '適用' (Apply).

設定を変更する（6）

■ NM-ES 情報設定

NM-ES の情報設定を行います。

NM-ES へ接続する場合は、「NM-ES を使用する」にチェックし、アドレスを入力してください。

NM-ES はオプション機能です。

NM-PLR 設定変更ツール

NM-ES 情報設定

NM-SVR 情報設定 | NM-FTP 情報設定 | NTPサーバー 情報設定 | NM-ES 情報設定 | NM-PLR 情報設定

NM-ESに関する情報を入力して下さい。

ヒント: NM-ESはオプション機能ですので、通常はチェックボックスをOFFして下さい。

NM-ESを使用する

アドレス:

OK キャンセル 適用

■ NM-PLR 情報設定

NM コントローラの情報設定を行います。

入力項目	解説
再起動時刻	1日1回自動的に再起動する時刻
スケジュール更新時刻	1日1回自動的に登録されたスケジュールを更新し、放映に反映する時刻
放映ログ転送時刻	1日1回自動的に放映ログを管理サーバーに転送する時刻
動画コンテンツ表示の選択	動画コンテンツの再生方式。DirectShowのみ選択可能

注意！！

- 24時間表記で入力してください。
- スケジュール更新の前後では放映が途切れる可能性がありますので、各端末の放映時間外、できるだけ早めの時刻にスケジュール更新が行われるように設定してください。再起動時刻、放映ログ転送時刻も同様に設定してください。
- 再起動時刻の設定は、配信の運用を考慮し、問題のない時刻に設定してください。

NM-PLR 設定変更ツール

NM-PLR 情報設定

NM-FTP 情報設定 | NTPサーバー 情報設定 | NM-ES 情報設定 | NM-PLR 情報設定

再起動時刻とスケジュール更新時刻を入力して下さい。

ヒント: 変更の必要がなければ、初期設定のままで構いません。

再起動時刻: 4 : 0

スケジュール更新時刻: 3 : 0

放映ログ転送時刻: 3 : 0

動画コンテンツ表示の選択: Direct Show

OK キャンセル 適用

スタンドアローンで使用する（1）

NM コントローラをスタンドアローン（サーバーなし）モードで使用する際の、使用方法について説明します。

■ コンテンツの登録方法

STEP 1 登録するコンテンツファイルを別途用意した USB メモリや USB ハードディスク（以下 USB ディスク）のルート（G:¥など）にコピーしてください。

※サブフォルダ内のファイルは、登録されません。

※接続時に特殊なプログラムが自動的に起動するタイプの USB ディスクは使用しないでください。

STEP 2 コンテンツをコピーした USB ディスクを、NM コントローラに接続します。USB ディスクの接続が確認されると、自動的にプレーヤーソフトウェアが終了し、コンテンツの登録が始まります。登録処理中は、右の画面が表示されます。



STEP 3 データのコピーが完了すると、「USB を抜いてください。NM コントローラを再起動します。」とメッセージが表示され、自動的に再起動されます。このメッセージ表示中に必ず USB ディスクを抜いてください。

USB ディスクを差したままにしておきますと、「起動→放映→コピー→再起動」という動作が連続してしまい、正しく放映できません。

STEP 4 登録処理が完了すると NM コントローラが自動的に再起動して、放映を開始します。コンテンツ更新時、ごく希にコピーが実施されない場合があります。端子の接触等の問題ですので、再度抜き差ししてください。

■ ご使用されるUSBディスクについて

ご使用される USB ディスクにつきましては一部の機種で正しく読み込まれない現象が発生することがあります。古いタイプの USB ディスクでフォーマット形式が FAT32 又は NTFS 以外のものや、仮想 CD モードがある特殊な USB ディスクは正しく動作しない場合があります。

最近の USB2.0 のものをご使用の上、本運用前に事前の動作確認をよろしくお願いたします。

2G バイト未満の USB メモリの中には下記のような FAT（FAT16）形式でフォーマットされたディスクがあり、このような USB ディスクは正常に認識されません。（FAT16 はフロッピーディスクとして更新対象から除外しているためです。）

スタンドアローンで使用する（2）

※USB ディスクのフォーマット形式はマイコンピュータにて USB メモリドライブを右クリックし、プロパティを選択すると下記画面が表示されます。FAT の場合には、FAT32 でフォーマットし直すことで、正常に動作します。

使用できない例（FAT）



使用できる例（FAT32 又は NTFS）



■ 使用できるコンテンツ

使用できるコンテンツは、静止画 (JPEG, BMP)、Flash (FlashPlayer10 で動作するもの)、動画 (WindowsMediaVideo, MPEG1, MPEG2 (MP@ML))、パワーポイント (PPS 形式のみ※パワーポイントの PPT、PPSX ファイルは表示できません。) で、利用できる拡張子は以下の通り。

※使用できるファイル名の最長は半角 132 文字分とし、それを超えるファイルは登録されません。

JPEG	jpg, jpeg	BMP	bmp	Flash	swf
MPEG1, MPEG2	mpg, mpeg, mp2	WindowsMediaVideo	wmv	パワーポイント	pps

※パワーポイントスライドショーは全画面専用です。テロップとの組み合わせ表示はできません。

※MPEG2 及び WindowsMediaVideo 等の動画について、ハイビジョンコンテンツには対応しておりません。

※ビットレートの高い動画や CPU に負荷のかかる Flash やパワーポイントは正常に動作しない場合があります。

※登録可能なコンテンツ数は、80 個までになります。

■ コンテンツの表示時間

MPEG や WindowsMediaVideo といった動画はコンテンツの放映時間が自動的に設定されます。

その他のコンテンツは指定が無ければ、デフォルトで 15 秒に設定されます。

表示時間の指定は、ファイル名での指定が可能で、ファイル名の最後に“-DT”を入れて、表示秒数を指定します。(例:test-DT20.jpg→20 秒)※動画の場合も、指定があれば指定された値が優先されます。

※指定できる時間は 10 秒～86,399 秒、範囲外の値の場合は 10 秒または 86,399 秒となります。

スタンドアローンで使用する（3）

■ コンテンツの表示順

コンテンツの表示順は、ファイル名の ASCII コード昇順になり、その順序で繰り返し表示されます。この際、大文字・小文字もそのまま判断しますので、大文字ファイル名のファイルが先になります。

※Explorer での名前順とは異なります。

■ テロップについて

USB ディスクにテキストファイル(*.txt)がある場合は、その内容をテロップとして常時表示します。

テキスト内の改行は自動的に削除して表示しますが、文字数の最大は全角で 1,000 文字となります。

但し、パワーポイントスライドショーを使用する場合は、テロップは登録しないでください。

パワーポイントのスライドショーが正しく表示されません。

※テキストファイルは、USB ディスクに2つ以上コピーしないでください。

※テロップは登録したコンテンツの総表示時間で表示を行います。（例：15 秒の静止画一つだけを登録した場合は、テロップは 15 秒毎に頭から表示し直されます。）

【テロップの表示時間の例】

テロップは、コンテンツのループの周期で、先頭コンテンツに戻るタイミングで先頭文字列から表示されます。



コンテンツがループ再生されます。

↑ テロップは先頭コンテンツに戻るタイミングで先頭文字列から表示されます。

■ パワーポイントについて

パワーポイントスライドショーの表示は全画面専用です。テロップとの組み合わせ放映はできません。組み合わせ放映した場合、スライドの途中で切り替わらなくなるなどの現象が発生します。

ご使用頂けるパワーポイントは、パワーポイント 2003 スライドショー形式(*.PPS)のみです。

パワーポイント 2007 以降のスライドショー形式(*.ppsx)は使用できません。

「画面の切り替え」で「画面の切り替えタイミング」の自動切り替え時間を設定しても、「効果」をつけると、切り替わりのための効果の時間がかかり、スライドショー全体の表示時間は長くなります。放映時間の決定に関しては、ご注意ください。

例) スライド 6 枚で 10 秒切り替え

効果無し：約 60 秒

効果あり：約 69 秒

※スライドの内容、効果の種類で放映時間は異なります。

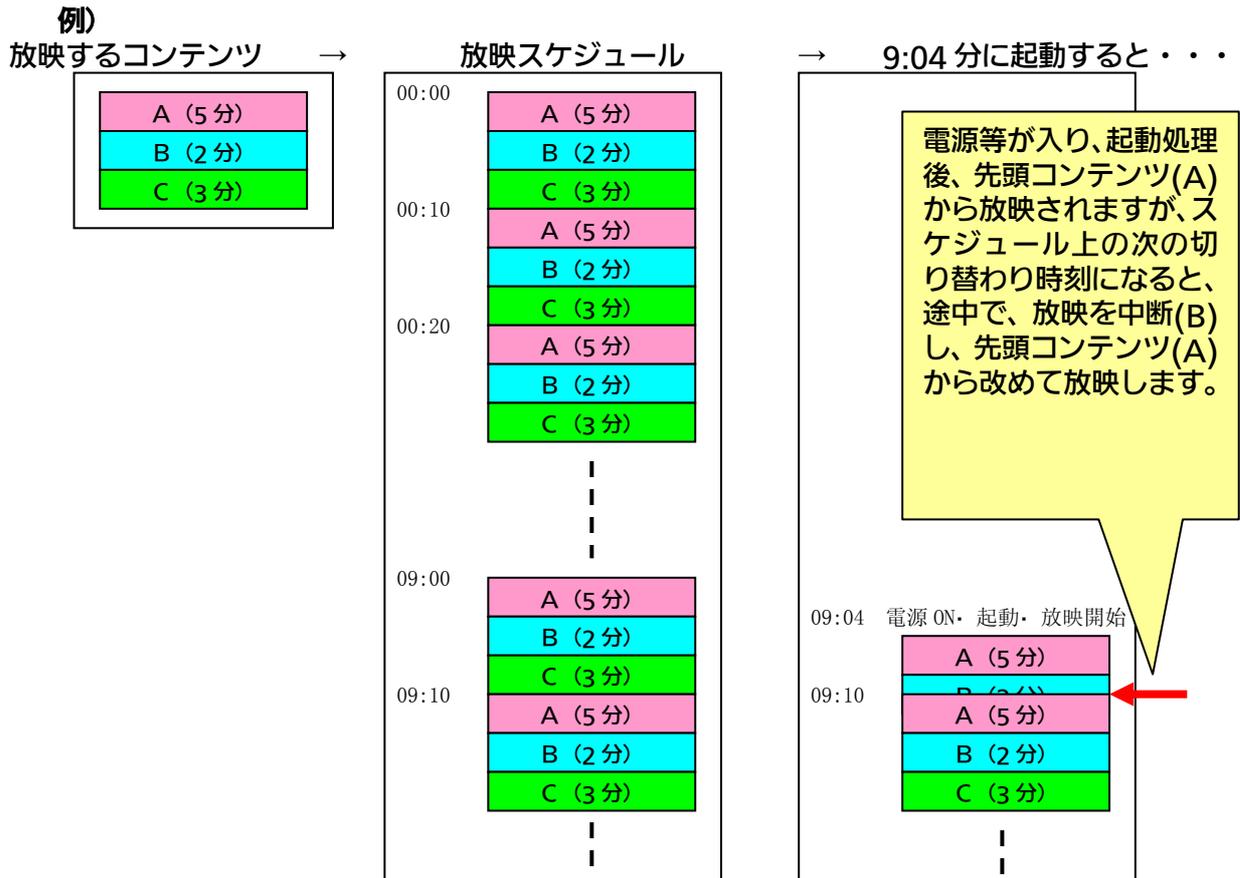
※パワーポイントを制作したパソコンのフォントの一部は、NM コントローラでは表示できない場合があります。NM コントローラでの放映内容を事前に確認頂き、放映可能なフォントを選択してください。

スタンドアローンで使用する（４）

■ コンテンツ更新後の初期放映について

NM コントローラ スタンドアローンモードの放映は DVD のループ再生とは異なり、内部的には放映時刻で管理されています。

例えば、USB に格納されたコンテンツの合計放映時間が 10 分だとすると以下のように 0:00 から 10 分ごとのスケジュール放映になります。USB を抜き差ししたり、電源を起動する場合、初回の放映は先頭コンテンツから始まりますが、スケジュール放映時刻になると、それまでの放映を中断し、そこから改めて、先頭コンテンツから放映を開始します。



スタンドアローンで使用する（5）

■ コンテンツの表示領域について

コンテンツの表示領域の設定は、コンテンツ登録時の NM コントローラの解像度から自動的に設定します。NM コントローラは出荷時設定 1920×1080 の解像度で映像を出力します。NM コントローラの解像度を変更した場合は、再度コンテンツの登録を行ってください。なお、解像度の変更方法は 14 頁【[■ 画面解像度の変更](#)】をご参照ください。

※ディスプレイ側でこの解像度に対応していない場合、表示画角がずれる場合があります。このような場合には、ディスプレイ側の「水平、垂直のサイズ、位置」の設定を調整してください。

※ディスプレイによっては、表示されない場合があります。その場合には、販売店までお問い合わせください。

■ 周辺機器関連

NM コントローラの起動・終了は NM コントローラの電源スイッチにて行ってください。電源スイッチはソフトスイッチになっております。終了する場合、電源スイッチを一度軽く押すと放映を中断し、OS のシャットダウンの後、電源が OFF します。

ディスプレイの電源入り・切り、入力切り替え等の制御はできません。ディスプレイ付属のリモコンにて操作してください。

■ NMコントローラの再起動について

NM コントローラは 1 日 1 回再起動します。初期値は 4:00 になっております。初期値以外の時刻を指定する場合には、販売店までご相談ください。

困ったときには

本装置をご使用中に「おや？おかしいな？」と思ったら、故障と考える前にまず次のことを調べてみてください。

それでも解決しない場合は販売店にお問い合わせください。

現象	原因・対策
ディスプレイ（FPD）に何も表示されない	ディスプレイの電源がオフになっているか、ディスプレイケーブルが外れている可能性があります。 ●ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を入れるか、接続ケーブルを確認してください。 ●ディスプレイ（FPD）の入力選択が正しく選択されているか、確認してください。 スケジュールが設定されていない可能性があります。 ●操作端末上で放映スケジュールが設定されているか、確認してください。スケジュールを更新した場合は、再度配信して、スケジュール更新を行ってください。
映像の左右に黒がある	ディスプレイ（FPD）の表示サイズが正しく選択されているか確認してください。
映像が赤紫色がかっている	ディスプレイ（FPD）の入力設定で、RGB入力ではなく、色差信号（Y Pb Pr）が選択されている可能性があります。ディスプレイのマニュアル等をご確認の上、正しく設定してください。
NM コントローラから音声が出ない	NMコントローラの音量が0か、またはミュートに設定されている可能性があります。 ●ミュートを解除し、音量を聞こえるレベルまで上げてください。 外部スピーカを使用している場合は、接続されているケーブルの状態と、アンプやディスプレイの音量設定を確認してください。
画面が青色になり、白文字の英数字のメッセージが表示される	NMコントローラのOSが異常停止しています。 ●NMコントローラを再起動してください。

困ったときには (つづき)

現象	原因・対策
正規 ID 付与後、端末が起動しているが、操作端末上の端末監視では稼動中の状態にならない	1) 端末に設定された管理サーバーのIPアドレスまたはポート番号が異なっている可能性があります。 ● 端末の設定変更ツールを起動して、設定されている管理サーバーのIPアドレスとポート番号を確認して、正しい値に変更してください。 2) ネットワーク障害が発生している可能性があります。 ● ネットワークが疎通されていることを確認してください。
コンテンツ、スケジュールを配信することができない	● ネットワークが疎通されていることを確認の上、再度配信を行ってください。 ● 操作端末上でFTPサーバーの設定をご確認ください。
ディスプレイの制御ができない	パナソニック製ディスプレイ (FPD) 以外の制御はサポート範囲外です。ディスプレイの制御関連の仕様書を入手した上で、販売店へご相談ください。有償にて対応可能な場合があります。

対応コンテンツ仕様

分類	種別	データ形式	参考値・留意事項
通常	動画	MPEG 1	アスペクト比 : 4:3 エンコードレート : 1.2~1.5 Mbps
		MPEG2	アスペクト比 : 4:3 または 16:9 エンコードレート : CBR 8 Mbps オーディオ : 44.1 kHz または 48 kHz
		Windows Media ファイル(WMV)	アスペクト比 : 4:3 または 16:9 エンコードレート : CBR 3 Mbps オーディオ : 44.1 kHz または 48 kHz ※アドバンスドコーデックには対応していません
	静止画	BMP、JPEG	BMP:WindowsBMP フォーマット JPEG:JPEG フォーマット
	HTML/URL	HTML	Internet Explorer 8にて表示可能なもの
	アニメーション	Flash	Adobe Flashにて制作したもので、FlashPlayer10で動作するもの ^{*1}
	パワーポイント	PPS	スライドショー形式で保存したもの ^{*1, *2}
テロップ	テロップ	テキスト	半角 2,000 文字まで
	背景	BMP、JPEG	フレーム内にオリジナルサイズで繰り返し表示 ^{*3}

*1 動きの激しいコンテンツなど、CPUに高い負荷をかけるコンテンツは再生できないことがありますので、スケジュール作成の前に表示状態の確認を行い、問題がある場合は、負荷軽減やWMVへのフォーマット変換などをお願いします。

*2 全画面表示のみとなります。

*3 スタンドアローンモードでのテロップ使用時は、背景色は黒、文字色は白の固定となります。

ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

- ・ フリーダイヤル 0120-878-410
- ・ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問合せは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2012